

平成23年度 障害者福祉関連施策予算について

1 平成23年度当初予算規模

(単位：千円)

会計区分	23年度当初予算	22年度当初予算	増減額	前年比
一般会計	148,807,000	151,283,000	2,476,000	98.4%
国民健康保険事業会計	50,553,279	48,608,167	1,945,112	104.0%
老人保健医療会計	0	89,725	89,725	0.0%
介護保険事業会計	31,134,449	29,871,685	1,262,764	104.2%
後期高齢者医療事業会計	10,917,310	11,619,906	702,596	94.0%
合計	241,412,038	241,472,483	60,445	100.0%

2 障害者福祉関連一般会計予算規模

(単位：千円)

科目	23年度当初予算	22年度当初予算	増減額	前年比
保健福祉費	66,551,374	62,386,101	4,165,273	106.7%
社会福祉費	27,239,938	27,443,095	203,157	99.3%
障害者福祉費	8,322,789	7,131,371	1,191,418	116.7%

3 障害者福祉関連 主要事業の概要 (平成23年度区政経営計画書より抜粋)

(1) 障害者地域生活支援事業 (障害者施策課・障害者生活支援課) 予算額 569,658千円

障害があっても、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談支援や日常生活用具の給付・貸与、移動支援、日帰りショートステイ、訪問入浴サービス等さまざまな事業を実施します。

また、相談支援事業所で急増している発達障害者やその家族からの引きこもり等の相談に対応するため、社会適応を促進するための支援事業を実施します。

(2) 心身障害者福祉手当等支給 (障害者施策課) 予算額 1,149,404千円

精神障害者保健福祉手帳(1級)所持者に対して福祉手当を支給し、精神障害者の福祉の増進を図ります。

- ・精神障害者への福祉手当の支給(新設)

- ・手当額 月額 5,000円

- ・対象者 杉並区に住所を有する精神障害者保健福祉手帳(1級)所持者

- ・支給制限 難病患者福祉手当、児童育成手当(障害手当)対象児童、施設入所者、本人又は保護者等の所得が限度額を超えているとき及び65歳以上新規申請者は対象外です。

- ・支給方法 年4回に分けて本人の金融機関口座に振込みます。

(3) 発達障害児専門相談・グループ指導 (障害者施策課) 予算額 16,464千円

発達障害とその疑いのある子どもと、その保護者を支援するため専門医師及び心理職による発達相談を実施するとともに、小グループによる相談、指導を行います。利用者の増加に対応するため非常勤職員を増員して、個別相談、小グループ指導のさらなる充実を図ります。

**(4) 就労支援事業 (障害者生活支援課) 予算額 11,352千円**

障害があっても、能力や適性に応じて一般就労ができるよう支援をします。区役所において知的障害者等をパート雇用する「すぎなみワークチャレンジ事業」や、新たに清掃業務における障害者雇用の調査を行い雇用促進に向けた就労課題を整理することで、今後の雇用の場の拡大につなげていきます。

また、作業所からの就労者を増やすため、区役所や企業においての実習の推進や短時間就労など多様な就労形態に対応するためのステップアップ雇用を実施します。

*すぎなみワークチャレンジ事業・・・区役所において、知的障害者・精神障害者を非常勤パート雇用して1年～3年の経験を踏まえ、一般企業への就職の実現を図るものです。*

**(5) 障害者入所・通所施設の整備 (障害者施策課) 予算額 89,807千円**

在宅生活が困難な障害者のため、障害者入所施設を区内等に建設した社会福祉法人に対し、独立行政法人福祉医療機構借入金の償還助成を行います。

区内にある障害者通所施設の老朽化に伴い改築が必要となったため、整備する社会福祉法人に対し建設助成を行います。

障害者入所施設や通所施設の整備には、ショートステイを併設して整備するなど在宅サービスの拡充も図ります。

平成23年度

償還助成 3施設(確保入所床数:64床(区内施設には都枠分11床を含む。))

建設助成 2施設(通所定員数:60名、ショートステイ定員数:8名)

(ショートステイ床数:1床増床)